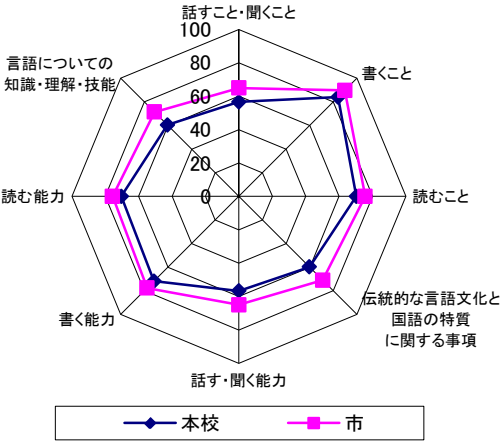


宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	56.6	64.9	69.8
	書くこと	84.1	89.8	81.9
	読むこと	70.4	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.8	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	56.6	64.9	69.8
	書く能力	71.9	77.7	73.7
	読む能力	70.4	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	60.5	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことが市平均正答率とはほぼ同じ正答率だった。 ●司会者の役割を理解して、計画的に話し合うことは不十分だった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 今後の指導の重点 ・話し合い活動では話し方の型を示し、意見を述べるときは立場や意図をはっきりさせるように意識付けを図る。
書くこと	○「2つのポスターのうち、どちらが効果があると思うか」の問題に対して、自分の意見とその理由を書くことの正答率は90%を上回った。 ●指定された(141字～200字)長さで文章を書くことは不十分だった。	・文章は意見と理由を区別して書くことができたので、今後も読み手を意識することで分かりやすい内容になるようさらなる定着を図る。 ・日頃より書くことに慣れ、つながりのある文章を書くことができることを指導していく。
読むこと	○物語の内容を読み取ることで、登場人物の心情を読み取ることが市の平均正答率を上回っていた。 ●説明文の内容を読み取ることで、文章の内容を的確に読み取ることが不十分だった。	・登場人物の心情を読み取る力が身につけているので、今後も気持ちに寄り添いながら読んでいこう、読み取りの視点を押さえた指導をしていく。 ・接続語やキーワードに目を向けながら読み取りを進めるよう指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●5年生の学習の漢字の読み書きや3字の熟語の構成についての理解が不十分だった。	・漢字は随時復習する機会を設け、文章を書くときには既習の漢字を使うよう指導していく。 ・熟語を使った短文作りなど、使う機会を設けていく。